



河内方面からの近江朝廷軍を迎撃したため、將軍吹負が派遣した河内方面への部隊が陣取った城。進軍していく近江朝廷軍に山を下って戦を挑むも軍勢を防ぐことができず、退却を余儀なくされました。壬申の乱の時代の高安城の場所は明らかになっていませんが、写真は6棟分が確認された奈良時代のものと推定される礎石建物跡のひとつです。

写真提供：平群町教育委員会

【交通アクセス】
高安城2号倉庫址
近鉄大阪線 河内山本駅から近鉄信貴線に乗り換え信貴山口駅下車。近鉄西信貴ケーブルに乗り換え高安山駅下車、徒歩約25分

壬申の乱における奈良県内及び近隣での戦いは、飛鳥京制圧、衛我河の戦い、乃楽山の戦い、当麻葦池の戦い、箸陵の戦いの順番で起こったことが日本書紀に記されています。なお、地図上では日本書紀に戦いが起こった日が記されているものについては、日付を記載しています。

■ 大海人皇子の吉野脱出・不破への経路
■ 大海人皇子軍進路
■ 近江朝廷軍進路
■ 援軍(大海人)
■ 大海人皇子軍勝利の戦
■ 近江朝廷軍勝利の戦
■ JR
■ 私鉄



⑧ 箸陵・上ツ道



一進一退の攻防を繰り広げた奈良盆地での戦い。中ツ道を進軍してきた近江朝廷軍に将軍吹負は苦戦しますが、箸墓の戦いでは大海人皇子軍が近江朝廷軍を打ち破りました。勝利に乗じた大海人皇子軍は、この方面での戦いを制しました。
桜井市立埋蔵文化財センターでは、桜井市の石器時代から飛鳥・奈良時代までの資料が常設展示されています。

② うだ あき 菅原の吾城



吉野宮を出た大海人皇子一行が、後続たちと合流。その後、一行は伊賀、伊勢へと進路を取り、美濃へと向かいました。現在この辺りは阿騎野・人麻呂公園として整備されています。
写真提供：宇陀市観光課



① 吉野宮(宮滝遺跡)



出家して大津宮を退去し、吉野に入っていた大海人皇子が、大友皇子を討つべく妻の鶴野謙良皇女とともに兵を擧げた地。吉野歴史資料館では、吉野宮復元模型などの展示資料をご覧いただけます。
写真提供：吉野町



1 吉野宮

進路図や戦の場所については、誌面の都合上簡略化して表示しています。
また、進路・戦の場所についての見解の相違についてはご了承ください。

大阪府



5 飛鳥淨御原宮(飛鳥宮跡)



壬申の乱に勝利した大海人皇子がこの地に宮を造り、新しい國の政治を行いました。後の持統天皇即位の儀式もここで行われました。橿原考古学研究所附属博物館、飛鳥資料館には、飛鳥宮跡からの出土物や復元模型が展示されています。



【交通アクセス】
飛鳥宮跡
近鉄橿原神宮前駅又は飛鳥駅より明日香周遊バス「岡天理教前」下車
徒歩約5分

奈良県域の壬申の乱

天智天皇の時代、都は近江に移っていましたが、古来都は飛鳥にありました。壬申の乱でもそれまで都のあった飛鳥古京は依然両陣営にとって重要な地域であったため、奈良県域でも両軍の激しい戦いが繰り広げられました。ここでは奈良県域における主な戦の経緯を紹介します。(※下記文章冒頭のアルファベットは、地図上のアルファベットに対応しています。)

大海人皇子ら一行が兵を擧げるため吉野から東国に出発した6月下旬、飛鳥にいた大伴連吹負(おとものむらじふけい)は皇位を継がれるのは大海人皇子であるべきだと考え、戦の準備を始めます。

A: 6月29日、吹負はまず飛鳥寺近辺にあった近江朝廷軍側の軍營を占拠。吉野を離れ、不破で指揮をとっていた大海人皇子はこの報告を喜び、吹負を將軍に任命したと日本書紀に記載されています。飛鳥制圧の情報が各地に伝わり、大和にいた有力な武将たちも將軍吹負の元に集まります。

B: 7月1日、吹負の軍は近江を攻めるために北上を開始。稗田に至った時、河内方面から近江朝廷軍が追っていることを知った吹負は軍の一部を分割し、河内方面部隊として西へ向かわせます。

C: その後、高安城に駐屯していた河内方面への部隊は、東へ進軍する近江朝廷軍を発見。衛我河(現石川)付近で戦いますが、近江朝廷軍の勢いに押され退却。

D: 7月4日、吹負の軍も乃楽山(現在の奈良市北部)にて南下してきた近江朝廷軍と戦いますがこちらも惨敗し敗走。しかし逃走の途中、墨坂で味方の援軍と出会い、金網井(現橿原市今井町か)にて兵を立て直し、今度は西からの近江朝廷軍に向かって進軍。

E: 当麻葦池にて近江朝廷軍と戦い、勇士來目の活躍もあり、勝利します。

本營に戻り、伊勢方面から到着した大海人皇子軍援軍本体と合流した吹負は、当麻葦池にて近江朝廷軍を大破し、勝ちに乗じて中ツ道の吹負達を救援し、近江朝廷軍は挾撃に軍を支えきれず、敗走しました。これを最後に近江朝廷軍は大和の地には攻めてこなくなりました。

この後、7月22日、近江では大海人皇子軍が瀬田川での決戦に勝利して、壬申の乱は終結に向かいます。

F: 一方、そこから約2km東方の上ツ道の箸墓付近でも大海人皇子軍と近江朝廷軍が激突。ここでは大海人皇子軍が近江朝廷軍を大破し、勝ちに乗じて中ツ道の吹負達を救援し、近江朝廷軍は挾撃に軍を支えきれず、敗走しました。これを最後に近江朝廷軍は大和の地には攻めてこなくなりました。

この後、7月22日、近江では大海人皇子軍が瀬田川での決戦に勝利して、壬申の乱は終結に向かいます。

G: 7月1日、吹負の軍は近江を攻めるために北上を開始。稗田に至った時、河内方面から近江朝廷軍が追っていることを知った吹負は軍の一部を分割し、河内方面部隊として西へ向かわせます。

H: その後、高安城に駐屯していた河内方面への部隊は、東へ進軍する近江朝廷軍を発見。衛我河(現石川)付近で戦いますが、近江朝廷軍の勢いに押され退却。

I: その後、高安城に駐屯していた河内方面への部隊は、東へ進軍する近江朝廷軍を発見。衛我河(現石川)付近で戦いますが、近江朝廷軍の勢いに押され退却。

J: その後、高安城に駐屯していた河内方面への部隊は、東へ進軍する近江朝廷軍を発見。衛我河(現石川)付近で戦いますが、近江朝廷軍の勢いに押され退却。

K: その後、高安城に駐屯していた河内方面への部隊は、東へ進軍する近江朝廷軍を発見。衛我河(現石川)付近で戦いますが、近江朝廷軍の勢いに押され退却。

L: その後、高安城に駐屯していた河内方面への部隊は、東へ進軍する近江朝廷軍を発見。衛我河(現石川)付近で戦いますが、近江朝廷軍の勢いに押され退却。

M: その後、高安城に駐屯していた河内方面への部隊は、東へ進軍する近江朝廷軍を発見。衛我河(現石川)付近で戦いますが、近江朝廷軍の勢いに押され退却。

N: その後、高安城に駐屯していた河内方面への部隊は、東へ進軍する近江朝廷軍を発見。衛我河(現石川)付近で戦いますが、近江朝廷軍の勢いに押され退却。

O: その後、高安城に駐屯していた河内方面への部隊は、東へ進軍する近江朝廷軍を発見。衛我河(現石川)付近で戦いますが、近江朝廷軍の勢いに押され退却。

P: その後、高安城に駐屯していた河内方面への部隊は、東へ進軍する近江朝廷軍を発見。衛我河(現石川)付近で戦いますが、近江朝廷軍の勢いに押され退却。

Q: その後、高安城に駐屯していた河内方面への部隊は、東へ進軍する近江朝廷軍を発見。衛我河(現石川)付近で戦いますが、近江朝廷軍の勢いに押され退却。

R: その後、高安城に駐屯していた河内方面への部隊は、東へ進軍する近江朝廷軍を発見。衛我河(現石川)付近で戦いますが、近江朝廷軍の勢いに押され退却。

S: その後、高安城に駐屯していた河内方面への部隊は、東へ進軍する近江朝廷軍を発見。衛我河(現石川)付近で戦いますが、近江朝廷軍の勢いに押され退却。

T: その後、高安城に駐屯していた河内方面への部隊は、東へ進軍する近江朝廷軍を発見。衛我河(現石川)付近で戦いますが、近江朝廷軍の勢いに押され退却。

U: その後、高安城に駐屯していた河内方面への部隊は、東へ進軍する近江朝廷軍を発見。衛我河(現石川)付近で戦いますが、近江朝廷軍の勢いに押され退却。

V: その後、高安城に駐屯していた河内方面への部隊は、東へ進軍する近江朝廷軍を発見。衛我河(現石川)付近で戦いますが、近江朝廷軍の勢いに押され退却。

W: その後、高安城に駐屯していた河内方面への部隊は、東へ進軍する近江朝廷軍を発見。衛我河(現石川)付近で戦いますが、近江朝廷軍の勢いに押され退却。

X: その後、高安城に駐屯していた河内方面への部隊は、東へ進軍する近江朝廷軍を発見。衛我河(現石川)付近で戦いますが、近江朝廷軍の勢いに押され退却。

Y: その後、高安城に駐屯していた河内方面への部隊は、東へ進軍する近江朝廷軍を発見。衛我河(現石川)付近で戦いますが、近江朝廷軍の勢いに押され退却。

Z: その後、高安城に駐屯していた河内方面への部隊は、東へ進軍する近江朝廷軍を発見。衛我河(現石川)付近で戦いますが、近江朝廷軍の勢いに押され退却。